

年賀状

生徒諸君は年賀状を書いていますか。手紙に一筆書き添える新年の挨拶は、平安時代から上流社会で行われていました。年賀状の形ができたのは、江戸時代以降からのようです。

年賀状は、明治六年に年賀はがきが発売され、昭和二十三年十一月には「お年玉つき年賀はがき」が発売されて、一般的になりました。これを契機にして、年賀状が全国的に購入されるようになったそうです。年賀状はいただいた方の文面を見てから一言書き添えて出すのが理想ですが、そんな時間的な余裕もないので、筆者は例年いただく人に事前に出しています。

声高に「虚礼廃止」を言う年賀状を書かない人もいます。この人も一日の朝、郵便受けを覗いているのではないかと思えます。

年賀状で気をつけたいことは、「元旦」の言葉です。元旦は「一月一日の朝」という意味です。したがって、「一月元旦」と書くのは、間違いです。「元旦」と書いた年賀状は一月一日に配達されるように早めに投函しましょう。ちなみに、年賀状は松の内の七日までです。それ以降は「寒中お見舞」になります。年賀状を書くのは少し面倒ですが、いただいた賀状に具体的な近況が書かれていますと親近感を覚えます。たった一枚の葉書で普段疎遠になつている人と心を通わすこともできます。

○語彙力チェック

①「語弊」の正しい用法は次のどちらか。

A 無口は語弊から免れる。B こう言うと語弊があるかもしれない。

②「ごほうぬき」の意味は次のどちらか。

A 辞書の中から語を次々抜く。B ものを一気に引き抜くこと。

③「子煩悩」とほぼ同義の言葉は次のどれか。

A 親ばか B 子ばかり C 虎の子

④「ごますり」と同じ意味の言葉は次のどれか。

A 栄養 B おべっか C 憎しみ

⑤「ごまめの歯ぎしり」と同じ意味のことは次のどれか。

A うどの大木 B 青菜に塩 C 石亀の地団駄

⑥「小間物屋」で売っていないものは次のどれか。

A 化粧品 B 櫛（くし） C 呉服

⑥ C